

令和7年度 自然に健康になれるとちぎ食の環シンポジウム 開催要領

1. 目的

県民の健康寿命の延伸及び健康格差・栄養格差の縮小を一層進めるためには、健康に関心が高くない方も含め、県民が意識せずとも無理なく健康的な食事を選択できる食環境づくりを推進する必要がある。

そこで、国の動向（食環境アライアンス・食環境戦略イニシアチブ）を踏まえた県の施策（とちぎ健康21プラン（3期計画））の方向性を周知するとともに、食環境整備の重点課題（栄養、食品ロス削減、地産地消）について、産学官等が連携して取り組む意義及び取組事例を共有し、県内事業者・市町等関係者の参画促進と機運醸成を図るため、本シンポジウムを開催する。

2. 日時

令和8（2026）年2月20日（金）13:30～16:00（受付開始13:00～）

3. 場所

ライトキューブ宇都宮 中ホール（栃木県宇都宮市宮みらい1-20）

4. 運営体制

主催：栃木県

運営委託：株式会社NTTデータ経営研究所

5. 対象者

- (1) 県内の食品関連事業者（外食、中食、食品製造、小売、卸売等）、メディア、金融機関
- (2) 市町の食環境整備関連部局（健康・農政・環境・産業等）担当者
- (3) 食環境整備に关心のある一般県民

6. プログラム

13:00～13:30	受付
13:30～13:35	開会・あいさつ
13:35～13:45	【行政説明】 栃木県における食環境事業の概要説明
13:45～14:15	【基調講演I】 演題：「自然に健康になれる食環境づくりと健康寿命の延伸」 講師：淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 講師 坂口 景子 氏
14:15～14:35	【基調講演II】 演題：「健康な食事を支えるフードシステム」 講師：女子栄養大学 栄養学部 教授 中嶋 康博 氏
14:35～14:45	（休憩）

14:45～15:55	<p>【シンポジウム】</p> <p>テーマ：「食環境整備に多領域が連携して取り組む意義と実践」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター（進行） 　淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 講師 坂口 景子 氏 ・アドバイザー（助言） 　女子栄養大学 栄養学部 教授 中嶋 康博 氏 ・パネリスト <p>亀田製菓株式会社、株式会社宮食、株式会社日本栄養給食協会</p>
(14:45～15:25)	<p>(1) 県施策の説明／事業者取組事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 栄養・食生活分野 〔県担当課〕健康増進課 〔事業者〕亀田製菓株式会社 ② 食品ロス削減分野 〔県担当課〕資源循環推進課 〔事業者〕株式会社宮食 ③ 食育・地産地消分野 〔県担当課〕農政課 〔事業者〕株式会社日本栄養給食協会
(15:25～15:55)	<p>(2) 意見交換</p> <p>登壇者：コーディネーター、アドバイザー、パネリスト</p>
15:55～16:00	閉会